

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公開番号】特開2010-136838(P2010-136838A)

【公開日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2008-315074(P2008-315074)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月30日(2011.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域に設けられる始動口と、

前記始動口への遊技球の入球に基づいて、大当たりについての当落にかかる判定処理を行う大当たり判定手段と、

前記大当たり判定手段による判定処理にて前記大当たりが当選されたことに基づいて、遊技者に特典が付与される特別遊技を行う特別遊技実行手段と、

複数の画像図柄が変動表示演出される所定の表示画面を有する演出画像表示装置と、

前記大当たり判定手段による判定処理が行われたとき、前記複数の画像図柄についての変動表示演出にかかる演出制御を行う演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段による変動表示演出にて前記複数の画像図柄がそれぞれ停止表示されたときの前記所定の表示画面にて特別な図柄組み合わせが現れたときには前記判定処理にて大当たりが当選されたことが遊技者に示唆される遊技機であって、

前記演出制御手段は、

前記複数の画像図柄のうちの一部のみが所定の停止態様にて表示されるリーチ状態を形成してから、複数の特定演出画像が順次表示されるリーチ演出を行うリーチ演出実行手段

前記リーチ演出実行手段によるリーチ演出が行われるのに先立って、前記複数の画像図柄が1回だけ変動表示演出されるように前記演出制御を行う通常演出制御手段、及び

前記リーチ演出実行手段によるリーチ演出が行われるのに先立って、前記複数の画像図柄が複数回にわたって変動表示演出されるように前記演出制御を行う特別演出制御手段を有しており、

前記特別演出制御手段は、

前記複数の画像図柄を複数回にわたって変動表示演出させる都度、前記リーチ演出実行手段によるリーチ演出の中途場面にて用いられる特定演出画像が前記所定の表示画面にて現れるように表示制御し得る演出画像差替手段、及び

前記演出画像差替手段による表示制御によって前記所定の表示画面に特定演出画像が現れている演出状況において前記リーチ状態が形成されたとき、前記リーチ演出実行手段によるリーチ演出を、当該特定演出画像に対応する中途場面から開始させる中途演出継続手段

を有することで、前記リーチ状態が形成される前のリーチ前変動区間にありながらも、当該リーチ前変動区間にて前記複数の画像図柄が複数回にわたって変動表示演出される間に前記リーチ演出が段階的に進行され得るようにした

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記大当たり判定手段は、

前記始動口への遊技球の入球があったときに乱数を取得し、この取得した乱数に基づいて大当たりについての当落にかかる判定処理を行う

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記所定の表示画面は、液晶表示面によって形成されてなる

請求項 1 または 2 に記載の遊技機。